

伊豆の国市立長岡南小学校 学校だより



あやめだより

令和4年8・9月号

校長 戸田 太郎

感染症の広がりが続きますが、久しぶりに行動制限のない夏となりました。各地でも数年ぶりに、お祭りや花火大会などが開催されています。

その様な状況の中、小学生の校外活動や中高生の部活動も十分な感染症対策をしながら、盛んに行われています。日頃から運動や武術、競技、芸術などに親しみ、全力で取り組み、その成果を発揮する場となる各大会への参加は、とても大きな目標となっていることと思います。たとえ地域の小さな大会であっても、一人一人が緊張感をもち、全力で取り組んでいる姿を目の当たりにすると、心を動かされます。

しかし残念なことに、高校サッカーや高校野球の大会などでは、感染症のため、出場を辞退する選手や学校があったというニュースを耳にしました。辞退した学校の中には、チーム内でわずか1名の感染者というケースまでありました。出場を勝ち取るまでの練習での努力、試合にかける思いを考えると、感染した生徒はもちろん、チームメイトの気持ちを思うと胸が締め付けられます。また、事前のPCR検査で陽性とならなくても、検査結果を聞くまでの心情を考えると、なんとかならないものかと思います。一方で、公正を期すためのルールであったり、相手チームのことを考えての判断であったりすることもよく分かります。

今後も続くであろう感染症と向き合っていくには、このような厳しい状況の時にも、それを乗り越えていくだけの心の温かさ、広さ、強さが必要だと思えます。このような心を、南っ子にも育ててほしいと願う夏となりました。大会参加を辞退しなければならなかった選手や学校のみなさんの今後の活躍に、力一杯のエールを送りたい気持ちです。

